

重点施策

3

21世紀都市・交流拠点の創造

「都市機能の整備」

市役所新庁舎の整備

県立中央病院跡地に、市役所新庁舎と出雲中央広場（仮称）をあわせて整備することになりました。秋までに基本設計・実施設計を終え、平成20年度中の完成をめざします。

新庁舎完成後に残る現庁舎は、新庁舎建設調査検討委員会の提言を念頭に、有効に活用すべきと考えています。

都市中心部の街路整備

出雲地域では、引き続き上新町線外9路線、県事業の出雲市駅前矢尾線外2路線の整備を推進します。

平田地域では、新たに後川薬師線の整備に着手します。木綿街道整備計画を策定し、特色ある伝統的な街なみづくりを支援していきます。

大社地域では、引き続き北荒木赤塚線の街路整備を実施するほか、門前町再生整備計画の一環として道路、交通広場の整備を進めます。

都市再生等のまちづくりの推進

新たに平田地区の整備に着手するとともに、岐久海岸地区、八幡原川地区、今市地区および大社地区の4

地区の整備を進めます。

出雲大社周辺の電線類地中化工事や今市町八雲周辺の小公園整備を行うほか、建築物の修景助成を行います。また、良好な景観の創造に向け、出雲市景観計画を策定します。

「広域交通網の整備」

山陰自動車道

平成21年度末の出雲インターチェンジ（仮称）までの開通をめざし、斐伊川橋梁上部工事や所原トンネル工事など、ほぼ全区間において工事が本格化することとなります。

県民の悲願である山陰自動車道の早期全線開通に向けて、さらに強力に働きかけます。



山陰自動車道の斐伊川橋梁上部工事も着々と進んでいます（2月22日撮影 上島町）

国道9号出雲バイパス
平成19年度中の供用開始に向け、残された区間で工事が進められています。

地域高規格道路「境港出雲道路」

国道431号東林木バイパスの早期全線開通をめざし、工事が進められています。平田地域へ向けて事業が継続されるよう、ルート案の早期決定について、県に決断を求めます。

河下港

5000トン級岸壁が本年3月に完成し、新年度から利用可能となります。新設される、みなと振興交付金を活用した利用促進策を検討していくとともに、沖防波堤の早期建設を国・県に対して強く要望します。

「地域内幹線道路等の整備」

県道整備

出雲インター線、大社立久恵線出雲平田線、斐伊川一畑大社線など県道の一層の整備促進を強く働きかけていきます。

市道整備など

次期「幹線市道整備計画」を策定します。

市管理の道路や河川の除草・浚渫は、地域住民との協働による取り組みを進めていきます。

「公共交通ネットワークの構築」

バス交通

県立古代出雲歴史博物館などを巡

る新たなバスルートを検討するほか、地域の利用実態に即した運行形態の見直し、路線の再編などを進めます。

一畑電車

従来の欠損補助方式から、鉄道の基盤部分の経費補助方式へ支援策の転換を図ったところです。県や松江市とともに、事業者へ一層の経営努力を促します。

出雲空港

既存路線・便数の維持確保やサービスの向上、名古屋路線の運航再開などを関係機関にさらに強く要請していきます。

「高度情報通信社会の実現」

住民基本台帳カードの一層の普及に努めるほか、ホームページの機能・内容の充実を図ります。

また、佐田地域の吉野地区で移動通信鉄塔施設整備事業を実施し、携帯電話不感地域の解消に取り組みます。



住民基本台帳カードの発行枚数は、昨年12月に2万枚を突破しました

重点施策

4

21世紀環境先進都市の創造

「循環型社会の構築」

3Rの推進

3R、すなわち廃棄物の発生抑制（リデュース）・再利用（リユース）・再生利用（リサイクル）に強力に取り組む、「世界一のリサイクル都市」実現に向けて努力します。

リサイクル市の開催

市内各地域でリサイクル市を開催し、衣類・古布のリユースやリサイクルに取り組みます。

環境美化活動の支援

出雲地域での環境衛生組合の自主的な活動を支援するとともに、全市への拡大も検討します。

「動植物との共生」

トキ分散飼育への取り組み

国際保護鳥トキの国内分散飼育地指定に向け、「トキ飼育センター（仮称）」の設計に着手し、国に対して引き続き強力に働きかけます。

「安全・安心な都市づくり」

防災対策

市と地区災害対策本部、町内組織等が連携した「地域防災ネットワーク」を構築し、防災体制の一層の強化を図ります。

緊急時の情報伝達手段として、まづ平田地域でサイレン網を整備するとともに、JAいずもの新通信システムやFMいずも、携帯メールの活用について検討を進めます。浸水想定区域や土砂災害警戒区域、避難所等を表示したハザードマップを作成して全戸配布を行います。

消防団体制

消防団については、6消防団を1消防団13方面隊に統合します。自主防災組織・消防クラブ等の育成強化に努めるほか、水防団についても、機動性のあるゴムボート等の配備を進め、水防活動の強化に努めます。



消防団の統合により、地域に密着した防災活動の強化が期待されます

斐伊川・神戸川治水対策

上流部のダム建設事業、中流部の斐伊川放水路事業の早期完了と、下流部の大橋川改修工事が早期に着工されるよう、関係機関へ強く働きかけます。

神戸川上流部は、暫定改修が進められており、引き続き、抜本的な改修の早期実現に向けて、関係機関に強力に要請していきます。

防犯・交通安全

防犯灯の整備を進めるとともに、防犯ボランティア等市民の主体的な取り組みを支援します。交通指導員の育成・活動強化を図るほか、安全意識の啓発や交通安全施設の整備を進めます。

「快適な居住空間の整備」

市営住宅の建設など

本年10月に上分住宅が完成予定であり、新年度から有原住宅1期の建設に着手します。来原住宅跡地で、分譲住宅地の開発を行います。

新しい住宅政策として、民間住宅の有効活用の方策を検討します。

民間施設における吹付けアスベストの除去への補助制度を立ち上げ、市民のアスベスト被害を未然に防止します。

都市公園整備

愛宕山公園の再整備を進めるほか、市内の公園の遊具・トイレなどの改修等に努めます。

下水道整備

平成18年度に策定した出雲市汚水処理整備計画に基づき、事業を推進していきます。

上水道整備

新たに第6次拡張改良事業に取り組み、安全で良質な水道水の安定供給をめざします。尾原ダムから平田地域への受水を可能とする施設整備の準備や、来原浄水場での自家発電施設の整備等を行います。

簡易水道整備

日御碕簡易水道の改良を引き続き行うとともに、中山地区の一部と蛇池地区において水道未普及地域解消事業に着手します。



トキの分散飼育地指定に向けて、飼育員の技術向上を図るため、アフリカクロトキとシヨウジョウトキを飼育しています